

ほんごう

国立富山工業高等専門学校同窓会会報

No. 13 2009年(平成21年)10月発行
〒939-8630 富山市本郷町13番地
国立富山工業高等専門学校同窓会
発行責任者 石山 彰 雄
印刷 / 株式会社 宮越 印刷

第2回 関東支部同窓会開催

1月24日東京品川プリンスホテルにて、1回から38回までの同窓生16名及び学校長の出席のもと関東支部同窓会を開催しました。
支部長には、1M長谷治男さんに就任頂き、2次会の10時ごろまで時間の経つのを忘れて懇親を深めました。
次回は、新支部長のもと多くの同窓生に参加頂きたいものと思います。



いっぺんこられまあー

ほんごう会大懇親会開催

(平成21年度総会)

場所 / 名鉄トヤマホテル

会費 / 30才未満及び女性 ￥3,000

30才以上の男性 ￥5,000

新卒者 無料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方はメール、FAXまたは同封のはがきにて、10月30日までにお知らせ下さい。

11月7日(土)

PM5:00~ 講演会

松田 重生先生 他

PM6:00~ 懇親会(総会)

詳しくは富山高専 井上教員
TEL 076-493-5473 FAX 492-3859

E-mail: inoue@toyama-nct.ac.jp

または、同窓会メール

E-mail: info@tk-hongou13.net

多数の参加をお待ちしています。



ご挨拶

—富山に、スーパー高専誕生—

校長 米田 政明

仲秋の候、富山高専同窓会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から皆様の母校富山高専に対して格段のご支援・ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年も本誌でのご挨拶で、「昨今の気象は異常です」と書きましたが、今年も同じ話からスタートさせていただきます。富山は、今年は冷夏でした。梅雨入り宣言があって数日は暑い日が続きましたが、その後は曇天が多く、日照時間は平年の半分ほどしかなかったのではないのでしょうか。私が住んでおります富山市吉作は「幸水」の産地ですが、梨好きにとっては残念なことに、今年は日照不足のため甘みがいま一つだったようです（梨栽培の農家にとっては大打撃）。8月に大きくずれ込んだ梅雨明け宣言も有ったのか無かったのか分からないうちに秋になり、梅雨前線がそのまま秋雨前線に名称変更したような気候で、まだ9月半ばだというのに朝晩の冷え込みが気になるようなこの頃です。

冷え込みと言いますと、風邪やインフルエンザが流行る季節が近づいていることを意識させられますが、今年は新型インフルエンザ（豚インフルエンザ）に、これは世界中がやられています。北半球では夏というのに感染拡大を続け、日本では10月に感染者のピークを迎えて5人に1人は罹るという厚生労働省の試算も出されました。幸い、まだ強毒性ウイルスに変異していないようですが、そうなった場合を考えると、恐ろしい気がします。本校での感染者発生状況や対策ですが、お蔭様で、現在のところ学生1人が家族旅行中に発症ただけで（自宅で完治）、学級閉鎖に追い込まれるような状況ではありません。しかし、本校は学生を大勢預かっている高等教育機関であり、また組織の危機管理体制が問われる昨今でもありますので、今回も早い段階で「新型インフルエンザ対策本部（本部長：校長）」を設置し、今後想定されるあらゆる場合に備えております。

また、冷え込みと言いますと、昨年秋に米国に端を発した金融不安がアツと言う間に世界に広がり、日本経済も相当に冷え込んでいるようです。これまで高専卒業生や専攻科修了生に対する求人倍率は非常に高く、ほぼ100%の就職率（就職希望者が内定する割合）を誇っていましたが、今年は少し事情が異なり、苦戦している学生もいるやに聞いています。先般（8/30）

行われた総選挙で久々の政権交代がありましたが、新政権には、日本経済の一日も早い立て直しを期待したいと思います。

こんな中、皆様ご案内のように、本年10月に本校は富山商船高専と統合し、新モデルの国立高専「富山高等専門学校」として生まれ変わります。今回の統合は、全国4地区（富山以外は、宮城、香川、熊本の3地区）で行われます。国立高専の長い歴史の中で学校統合は初めてのことであり、全国に55ある国立高専を束ねている独立行政法人国立高等専門学校機構（以後、高専機構と略記）は、（単なる定員削減のための統合ではなく）「高度化再編」による統合と位置付け、誕生する新しいモデルの高専を（果たすべき役割への期待を込めて）「スーパー高専」と呼ぶことにしています。

「高度化再編」に至った経緯や富山に誕生する「スーパー高専」の概要につきましては、昨年の本誌の「ご挨拶 - 高専の高度化再編 -」で書かせていただきました。以来1年が経ちましたが、内容にほとんど変更はありません。この内容で、新高専は昨年末に設置審査に合格し、今年3月には（統合の法的根拠となる）高専機構法の改正案が参議院で可決成立し、統合が本決まりとなった次第です。

「富山高等専門学校」の特徴を一言で言いますと、「分野多様性」になるかと思います。他の3地区の新高専がいずれも工業高専と電波工業高専の組み合わせであるのに対し、富山高等専門学校は工業高専と商船高専の組み合わせです。学科構成も、工学系4学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科）、人文社会系1学科（国際ビジネス学科）、商船系1学科（商船学科）の6学科から成ります。本校（新高専の「本郷キャンパス」となります）と富山商船高専（新高専の「射水キャンパス」となります）、歴史も伝統も異なる両校がその歴史と伝統を活かし、持てる力を結集して分野間連携を図り、キャンパス間の距離を超えて融合し、真にスーパー高専と呼んでもらえるような高専を目指して、そして地域社会や地域産業界からこれまで以上に愛される高専を目指していきます。

両校にとって、学校が幕を閉じるのは寂しいことです。新高専の学校名から「工業」の2文字、あるいは「商船」の2文字が消えることに断腸の思いをされている方も多いかと存じます。しかし、国立高専の歴史

始まって以来の変革に立会い、明日からの歴史を自らの手で創っていくことに意義を感じて、教職員一丸となって努力して参りますので、同窓会の皆様には引き続きご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

補遺：写真を4枚添えてみました。ご覧いただければ幸甚です。

写真1：本郷キャンパス正門



本校は新高専の「本郷キャンパス」となり、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科の3学科が置かれます。写真は、本校の正門から学生玄関方向を撮ったものです。

写真2：練習船若潮丸



富山商船高専は新高専の「射水キャンパス」となり、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科の3学科が置かれます。写真は商船高専の象徴とも言うべき練習船若潮丸です。新高専において若潮丸は全学科の環境教育などにも活用されます。

写真3：環日本海諸国図



新高専では「創意・創造」、「自主・自律」、「共存・共生」の教育理念のもと、「環日本海地域の持続的社會を担う人材の育成」を教育目標に掲げています。写真は富山県が著作権を持っている環日本海諸国図です。不思議なことに、日本地図を逆さに見ると富山が環日本海の真ん中にあるように見えます。

写真4：富山高等専門学校制服



新高専の主演は申すまでもなく学生です。写真は新高専の学生が着用する制服です。未来志向のブレザータイプとしました。胸には新しい校章のバッジを付けてもらうこととしています。

退官される先生より

ご挨拶

鳥山成一

同窓会員の皆さんお元気でしょうか。

富山県を退職し、平成18年4月に赴任し、初めの1年間は授業の準備、学校行事、クラブ顧問、寮日直と全て初めての体験で、すぐに5年生の卒研と追われるように過ごし、4年間が経ちました。不慣れなため皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。

高専に来て初めに困ったことは卒研のテーマと研究費が少ないこと、機器・設備が少ないことです。時間が無いので前職場から継続している科研費のテーマを学生に分割して卒研のテーマとし、研究費もそれを使ってしのぎました。

県職時代は研究職でしたが、ルーチン業務が80%以上あり、残りが研究業務といった勤務体制で、研究などほとんどできない状況でした。高専は教育機関ではありますが、研究出来る時間があ、り、学生さんの協力もあり、おかげさまで論文等が10篇（査読付論文9篇、解説1篇、）発表等が18編（国際シンポ1篇、口頭学会発表13篇、口頭支部発表4篇）、今年度分の論文4～5篇ほど予定があり、たくさんの研究成果があげられたことに深く感謝しています。

理科離れを防ぎ、技術に関心を持った高専生を受け入れるために、『体験入学、出前講座』等のいろんな取組みがなされ、大変良いことだと思います。しかし、入学後の学校のカリキュラムは必

要な専門科目が多くあり、そのため、それらの取組みが継続される機会が少ないように感じます。

この兼ね合いは非常に難しいことです。また、社会人になってから学生が、専門技術を聞きに来られるような教員になることが理想かなと思います。同窓会員の皆さん、技術相談や人生相談など、これからもおおいに高専をたずねてください。高専にはアドバイスのできる先生がたくさんいらっしゃいます。

高専で培われた自由な精神とエネルギッシュな行動力で、それぞれの道を切り開いていってください。皆さんのますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



定時理事会 (21.6.27)



懇親会 (21.6.27)

ご 挨拶

松 田 重 生

同窓会の皆様お元気でしょうか。日本では、卒業と同時に自動的に同窓会会員になるのが普通だと思います。しかし、同窓会は、同じ学校で学ばず志と関心を等しくする者が、世代を超え自己意志で作る主体的会であり、何ものにも代えられない価値を母校に見いだすが故に、同窓会が組織されると思います。

さて、今日地球上の砂漠の面積は拡大の方向であると聞いています。しかし、今年の梅雨は地球が水の惑星である事を実感させられた思いです。

私は、平成3年富山県立短期大学応用数学科の3月廃止の4月に一般科目の数学の教員として本校に赴任しました。前任の応用数学科はクラスの8割近くが女性でした、高専では逆転し当初は違和感を覚えました。赴任のその年の秋ある企業の研究に協力するようになりました。この研究は1年3ヶ月程して完成しました。多分、全国の高専の数学の教員で企業と共同研究をしたのは、私は早い方であると思っています。この研究で数学というものを再認識しました。以後、今日まで大勢の人の助けにより、企業、大学、研究所の人たち、特にナノテクやマイクロナノの関係の人々とながかりをもつ様になりました。(先日もシグマ光機の研究所を訪ねました。この時は、他高専の数学の先生と2人で訪問しました。)そして多くの人たちから数学、技術者教育について教えられました。そこで私が得た結論は、「今日の科学・技術は間違いなく分子物理学(生命科学を含む)の方向へ向かっている」です。

では、これからの富山高専の教育はどうしたら

よいのか? 同窓会の皆様は高専の教育の今後についてどのような考えをお持ちですか? 私は、「教育とはその国の文化の1部であるべきだ」。そして、「人類は分化することにより進歩してきた」と思っています。さらに、「その国の文化、伝統、先人たちの努力、そして国際関係の厳しさを教育に盛り込むべきである」と思っています。教育のグローバル化、三現主義の現場重視に反する50分授業化、90分授業から50分授業にすると、学生たちが反対したにもかかわらず50分授業になりました。時流に押されず、現場に即した教育体制を取りたいものです。特に低学年には自分でじっくりと考える習慣と、基礎力を身に付けさせることが今日の教育に求められているのではないのでしょうか。そして、高専の4、5年生に対して物理学と数学の徹底した教育が今後の技術者教育のポイントになると考えています。ところで、授業で数式が企業でどのように使用されているか話すと学生たちは目を輝かせます。高専設立後の40数年間において、科学技術の発達は目覚ましい。学生たちに必要とされる知識が膨大に増加しました。この事実に対処するために、同窓会会員の経験を教育に活かすことが必要だと思います。

最後に、我々教員が魅力ある高専を目指し、富山高専の存在意義が確認され、同窓会会員に誇りにされることにより、同窓会と富山高専の歴史に厚みが加えられるよう望みます。





スーパー高専の創設

同窓会々長 石山 彰雄

本年10月1日付をもって富山工業高専と富山商船高専が統合することは、既に御存知のことと思います。

高専制度のなかでも、ピカリと光るスーパー高専を目指しての統合であると言われてはいますし、そうあって欲しいものです。

「物づくり」大国、日本が、その中核を担っている高専制度をどういう方向にしたいのか。

独立行政法人化に伴い、予算削減のなかで、国立高専機構の指導力が今、まさに問われているのだらうと思われま。

高専機構も最近ようやく、同窓会、同窓生との連携を強く打ち出してきています。

同窓会としても、高専機構や文部科学省に対し、将来の展望などにつき、具申すべきことはしなければならぬと考えます。

ところで、商船同窓会との統合については、当面、統一した形での同窓会ではなく、「ほんごう会」は従前どおり、工業高専としての同窓会として存在してゆく予定です。統合後の入学生についても、本郷キャンパスの三学科につき「ほんごう会」同窓会員として対象とすることになりそうです。

いずれにしても会費の徴収方法などにつき、商船同窓会ともう少し詰める必要があります。

同窓会々員1期生は既に60才を過ぎ、そろそろ同窓会の活動にも積極的に参加頂ける状況になってきたと思われま。

本年は11月7日、土曜日に名鉄トヤマホテルにて同窓会総会を開催しますので是非、御出席頂き盛り上げて欲しいものです。

同窓会会計報告

平成20年度 決算報告

収入の部 平成20年4月1日～平成21年3月31日

項目	決算額	摘要
繰越金	936,165	前期繰越
同窓会会費	1,670,000	会費10,000円×167名
その他	10,000	同窓会会員名簿販売 2冊
利息	15,576	普通預金、定期預金
計	2,631,741	

支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	190,771	11/3 開催
理事会費	77,474	6/28 開催
学生会助成費	190,000	部活動助成金 (柔道部、剣道部、鉄道部、囲碁将棋部、ハンドボール部、硬式テニス部) 志峰祭パンフレット
ロボコン助成費	60,000	ロボコン活動
渉外費	30,000	「ヒューマンネットワーク高専」総会出席
事務局運営費	120,210	事務パート代、事務用品
会報発行活動費	671,202	会報誌「ほんごう」10月発行
定期協議会費	38,402	三者懇談会 9/5 開催
支部活動助成費	140,210	クラス会助成 9件 (振込料含む)
祝賀壮行会費	260,750	19年度分 93,000円 20年度分167,750円 (4学科2専攻科新クラス理事への補助金60,000円含む)
講演会費	0	
負担金	90,420	技術振興会会費
予備費	239,545	冊子購入(13,860円) ホームページ制作(170,085円) 甲子園応援新聞広告(31,500円) 香典、生花、電報(24,100円)
計	2,108,984	

収入合計 2,631,741 - 支出合計 2,108,984 = 残高 522,757 次年度に繰り越し

平成21年度 予算

収入の部 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

項目	決算額	摘要
繰越金	522,757	
同窓会会費	1,700,000	170人×1万円
利息	1,000	
計	2,223,757	

支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	200,000	
理事会費	100,000	常任理事会を含む
学生会助成費	100,000	クラブ活動・志望祭
ロボコン助成費	60,000	2件分
渉外費	30,000	「ヒューマンネットワーク高専」総会出席旅費
事務局運営費	100,000	手当等
会報発行活動費	700,000	総会案内を含む
定期協議会費	50,000	三者懇談会費を含む
支部活動助成費	100,000	関東支部・クラス会助成
祝賀壮行会費	180,000	
講演会費	50,000	
負担金	100,000	技術振興会会費
予備費	453,757	
計	2,223,757	

平成21年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、教育後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

商船高専との統合に向け、同窓会として体制を確立する。

具 体 的 事 業

1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化

理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会開催予定日である11月3日(文化の日)は、週半ばなので、11月7日土曜日の開催とする。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

2. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

3. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

- ① 10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ② 写真と会報用の簡単な原稿を提出
- ③ クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

4. 富山高専・教育後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

5. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の共催

教育後援会との共催、学校の協力により祝賀壮行会を例年どおり実施し、同窓会の卒業生に対するP.R.そして積極的な参加を訴える。

6. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

7. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

8. 在校生への講演会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

9. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」からの情報を伝達し同窓会活動の一助とする。

10. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

11. 商船高専との統合による対応として第2回目の協議会を開催する。

12. 商船高専との統合記念祝賀会の支援。

(10月9日予定)

13. 会員名簿発行の検討(平成22年10月発行予定)

同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名	勤 務 先
会 長	M 3	石 山 彰 雄	司法書士石山彰雄事務所
副 会 長	M 4	丸 山 治 久	丸山建設(株) 富山市議会議員
副 会 長	M 6	布 村 敏 夫	北陸電機製造(株)
常 任 理 事	E 5	山 田 直 樹	アテナ電子
"	M 8	宮 越 成 幸	(株)宮越印刷
"	K 8	奥 野 耕 市	(株)テック・ダイ
"	M15	中 田 涉	朝日印刷(株)
"	E 21	長 田 晃	北陸電力(株)
"	K 11	井 上 誠	富山高専環境材料工学科
"	E 13	椎 名 徹	富山高専電気工学科
"	C 11	伊 藤 通 子	富山高専教育研究支援室
関 東 支 部 長	M 1	長 谷 治 男	hase824@cpost.plala.or.jp
監 事	C 3	米 谷 正	富山高専物質工学科
"	M14	本 江 哲 行	富山高専機械工学科

会員のひろば クラス会・OB会情報

一期生は定年を迎える

本年(2008年)は富山高専が卒業生を出して40年目。20歳で卒業すると60歳となり還暦を迎える。サラリーマンの多くは定年退職の年にあたっている。単身赴任を解消する人がいたり、新たな挑戦を考えている人もいるだろう。退職するとなかなか集まることも難しいのではないかと考え、本年の2月、何年かぶりに、東京近辺にいる工業化学科卒業、一期生(C1)の集まりを持った。場所は東京都心の焼き鳥屋の二階。七名が集まり旧交をあたためた。現況報告、退社の時期、定年後の計画など情報交換を行い、記念写真を撮り、それぞれの健康を祈念してお開きとした。会合の場所は、以前に同様のクラス会を実施した場所だったことはあたまにあったのだが、記念写真を撮っているときは以前も同様に撮ったことを思い出した。帰宅後、昔のネガ(その頃はデジカメではない)から当時の記念写真を探し出した。それは30年前のことだった。焼いてみると、お店は木造から鉄筋造りに新築されているものの雰囲気は残っている。写っているカレンダーから11月であったことが判る。人物はというと頭の薄くなった人、貫禄のついた人、それぞれに会社人生の哀愁が漂っているようにも見える。



1978年11月(畠山、寺田、小島、広瀬、津田、上田、高木)



2008年2月(畠山、小島、津田、鶴来、寺田、上田、南出)

話は変わるが、学生時代から登山に親しみ大日小屋の小屋番をするなどの関係もあって、山登りのため富山には毎夏顔を出している。小生は福井県の出身だが、富山は第二のふるさとと感じている。

称名から大日に登り、剣と対面するときは格別です。

独り大日岳にのぼりて (津田 西山)

深林無人語 深林(シリン) 人語無く

石径聴清泉 石径(セツイ) 清泉を聴き

獨坐青山上 獨り青山の上に坐せば

巖峰在眼前 巖峰は眼前に在り

ひとの通らぬ森を抜け、石ころ山道 沢づたい
尾根に上れば、この眺め

いただきの岩に腰掛けて、剣と語るひとときは
間近にせまる岩肌に、勇氣と希望がわいてくる

目前の山に登ろう。達成感と次への目標のため。

大日小屋では、この漢詩を津田が書いてプリントしたTシャツを売っています。

硬いことは抜きにして、鞍部の小屋でビール、酒・・・

夕空はれて、朱き陽に、木の葉色づき秋風ぞふく

まあるい器に丸い月、さかづき重ねる今宵こそ、月と一つになりませう



中秋観月 (津田 西山)

萬里雲晴望碧空 萬里、雲は晴れて、碧空を望む

夕陽(セツヨ) 黄葉(ワカヨ) 清風に颯たり

銀盤似鏡金波湧 銀盤、鏡に似て金波湧き
樽酒百杯明月中 樽酒百杯、明月の中(ワ)

毎年、大日に登っていますが、一昨年は職場異動もあって、思うところひとしおでした。

越し方を 振り返れば ひとすじの 道は大きく
くねりてつけり

来年(2008年)の1月で定年となりますが、会社のシニアパートナー制度を利用し、あと2年勤務する予定です。たまたま、年史編纂時期にあたり花王(株)の120年史の編纂に、またこれまでの経験を充分に活かして、昨年1月から一般公開している花王ミュージアムの運営に最期の会社生活を送りたいと考えています。

C1卒業生 津田 哲行

「開校記念日」に開催!! C1 クラス会

13年ぶりのC1クラス会が、快晴の4月18日(土)に多くの仲間が集い、開催されました。この日は、富山高専の開校45周年の記念日に当り、また仲間全員が還暦を過ぎ、会社人間は一応の区切りを迎える年でもありました。

当日は富山駅に集合、まずバスで母校の学舎を訪ねました。

本郷町のキャンパスから望む立山連邦は青白く残雪に映え、40年前と変わらぬ輝きを放っていました。

学校では、お願いしてあった3回生の米谷教授(校長補佐、教務主事)の出迎えを受け、早速階段教室へ入り母校の近況を聞いた後、校内を案内して頂きました。

自分達の卒業以来、学科の増設、改称、専攻科の設置などを経て、今年の10月には商船高専との統合と言う大きなうねりの中にある現状を聞きました。そして「富山工業高専」の“工業”と言う呼び名が無くなることに對し、寂しさを禁じ得ませんでした。案内頂いた校舎内はリニューアル化が進み、快適な環境になっている様子にも感心しました。当時は廊下だった所に、パソコンを置いた卒研の資料整理、論文作成の部屋が独立して設けられており、学ぶ環境も大変改善されていると思いました。さらに好天に誘われ外へ出て、寮まで散策しましたが、木々の大きさを見るに付け、45年の歴史を感じずにはおられませんでした。

1時間余りでしたが、大変懐かしく、学生時代の思い出が込み上げて来ました。見学を終えて、再びバスに乗り、当時の余韻に浸りながら、宿舍の極楽坂の立山国際ホテルへ向ったのでした。

ホテルでの懇親会は恩師の布本先生、寺田先生、太田先生にもお越し頂きました。

少し喉を潤した後、各自の近況報告を聞きましたが、30名も居たためと、40年分の積もる話があって、結局、一次会はこれに終始した形となりました。

二次会も和室でテーブルを準備しての簡素なものでしたが、ここでもテーブル毎盛り上がり、話に花が咲き、夜中の12時を過ぎて、ようやく“お開き”としました。

部屋へ戻って、2時頃まで喋っていた部屋もあったようです。

40年ものブランク、卒業以来会ったことの無かった人が多かったのですが、すぐに打ち解け、何のわだかまりも無く親しく懇談できたのは多感な青春時代の5年間を過ごし、意が通じ合っていた仲間達だからこそだと思いました。

翌朝、次回の再会(3~5年後に、関東在住の人達のお世話で)を約して、帰途に就いたのでした。

余韻に浸っていた翌週、埼玉から出席してくれた津田さんから1通のメールを頂きました。当時を懐かしみ、今回のクラス会を詠んだ“山、湾、顔の韻を踏む「七言絶句」”の漢詩です。

ここに紹介しておきますので、照覧下さい。

「同級会にて母校を訪ぬ」 津田西山

碧空銀嶺望春山 烟景一川注越湾
五九年前開校日 旧友志学懷紅顔

[読み]

碧空銀嶺 春山を望み 烟景一川 越湾に注ぐ
五九(ごっく)年前 開校の日 旧友は志学、紅顔を懐かしむ

[意]

青く澄み切った空には、残雪を抱く春の立山連峰が望める。

春景色の中、近くを流れる常願寺川は、雪解けの水を富山湾に注いでいる。

思えば今日は、五×九=四十五年前の母校富山高専開校の日。

私達は、当時十五歳、志学の歳だった。ここから化学に志したのでした。

今日は、当時のみんなの顔を思い出し、大変懐かしく思った。



報告者 山田 幸裕

電気工学科第5回生の同級会

- 1、日 時 2008年8月15日
- 2、場 所 神通峡 春日温泉ゆーとりあ越中
- 3、参加者 貴堂 靖昭先生、亀田 悦正先生と
同級生：17名 合計19名
- 4、内 容

当日は、大山カメラアカントリークラブでゴルフを楽しんだ後、ゆーとりあ越中へ集合した。我々は、4年に1回オリンピックの開催される年に同級会を開催している。今回は前回よりも多く参加した。お互いに学生時代の面影を幾分残しているものの年は隠しようもない。永年勤めた会社を退職した者もあり、賑やかな会話の中にもさびしさもあった。宴会ではひとりひとり、「勤務先の状況、子供や孫のこと」を紹介してもらいました。先生方からは、富山高専と商船高専が統合する予定を紹介されました。二次会では、学生

時代の出来事や近況について夜が更けるのも忘れて盛り上がった。次回は還暦を迎えるので特別な同級会としたい。

電気工学科第5回生 山田 正幸



M19 同 窓 会

平成20年1月3日、五年ぶりにM19同窓会が富山駅前の「火男（ひよっこ）」にて行われた。幹事が連絡先を知っている輩のみに声を掛けた怠慢極まりない段取りにもかかわらず、14名参加は皆の協力があったからこそであり、この紙面を借りて感謝の気持ちを伝える『みんな、ありがとう！』卒業してから既に二十年が経過しており

管理職に就いている者も多い。故に仕事で抱える悩みも複雑であるが彼らの言葉から共通して聞かれるのは『高専時代に培った根性で苦難、難問を乗り越えている。』そう、我々は低賃金でもめげずに企業を支える屋台骨なのだ。

当日参加の面々は二次会へ突入りカラオケバトルが開催された。トップは994/1000を記録した小林氏。景品がなかった事をお詫び申し上げる。

来年は会費を三倍にし、初の一泊同窓会を企画する事を宣言し、以上を同窓会報告とする。



H 21年1月3日、M19同窓生17名が富山観光ホテルに集結した。卒業後21年が経過したが今回、初めて恩師である小宮山先生に参加いただき、初の一泊同窓会を企画実行した。

近況報告を一人ずつにしてもらい、卒業アルバムを見ながら21年前を振り返った。

いつまでも若いつもりでいたが、皆の顔は心なしか丸くなっており（顔の筋肉が弛むのだな これは）多分にもれず髪は、いや、これを実況するのはやめよう。

お酒が行き届くころには騒々しくにぎやかになり先生がマイクを握り締め「ご指導ご鞭撻」を説いておられるのに聞き入っている輩が居ないというのはどういうことよ？

ほんの3ヶ月前に始まった急激な景気減速 '09年は暗闇になるだろうが、来年また、皆とこの懐かしく、心休まる時間が持てることを楽しみにしてがんばろう。

それから参加者が増えることを期待して。

以上、頑張らない幹事による報告！

M19 副島 悟



平成5年度入学同窓会

平成20年8月16日富山市の自遊館にて4クラス合同の同窓会を開催しました。卒業してからそれぞれのクラスで同窓会を開催したことはありましたが、卒業し10年が経過し30歳という節目を迎えたこともありまして、もっと人を集めて合同でしないかということで開催しました。

当日は県外や海外からも駆けつけた56人が集まり、退官された小川先生にも来ていただきました。

まだみんな学生時代の面影が残っていて「誰だっけ??」ということもあまりなく、お互いの近況や仕事、結婚

や子育てそして高専時代の思い出に大いに盛り上がりました。卒業し10年が経ちそれぞれに経験を積み男女問わず魅力的だったのが印象的でした。あとは学生の時流行っていた一気飲みをすることもなく、2次会3次会と遅くまで盛り上がりました。

次回は4年後のオリンピックの年に開催することを予定しています。今回都合により参加出来なかった方にもぜひ参加していただき、盛大に同窓会を開きたいと思います。

E30 本田 将志



M	今井 涉 茗ヶ原良和	高池 寿和 村中 伸雄	高木 亨 山本 直樹	高嶋 秀和 下仲 克幸	高野 正章 11人	長谷川達也	藤本 匡史
E	浅野 俊雄 坂口 理恵 堀田 亮介	荒井 康宏 笹井 信英 本田 将志	稲垣 雅信 指崎 和彦 松田 拓也	浦 克彰 前仏 雅人 17人	永山 正登 得能 宏之	大久保克洋 林 大	表 拓也 平井 智成
C	岩城 恵美 飛田 恵 山田 勝吾	碓井 宏実 中土幸矢佳 若林 千草	金谷麻依子 中村 郁子 嶋 敬吾	川上真由美 西野 豊亮 18人	児玉 知子 藤戸 梨里	島 千恵子 本江美也子	高木 英恵 水納亜紀子
K	加藤 智章 牧谷 浩永	牧田 司 牧野 剛士	高橋 啓介 吉川 弘	坂田 文武 10人	横山 曜	山口 毅	藤井 憲一

小川 勝 教授

平成21年度弓道部OB射会・懇親会

今年も例年と同様にお盆時期の土曜日（平成21年8月15日）に13時半から弓道部OB射会を富山高専弓道場にて、懇親会を同日18時半に笑笑富山駅前店にて開催しました。

今年度も県内外、さまざまな学年からOB射会は15名（+現役学生7名）、懇親会は11名とどちらの会も昨年度よりも多くの参加をいただきました。

現在、弓道部は部員60名を越える学校で一番規模の大きな部活となっておりまして、活気に満ち溢れて

おります。特に1、2年生で30名を超える状況にあると聞いております。

このような状況を弓道部OBの皆様、来年度は見に来ませんか？

来年度のOB射会、懇親会の多数の参加をお待ちしております。

来年度の開催日は今年と同様にお盆時期の土曜日（平成22年8月14日）を予定しております。

K32 長木 聖和



OB射会



懇親会

E3 海外ミニクラス会

2007年8月にシックビルでE3飲み会の待合せ中に偶然お会いした小川先生に加わって貰ってE3の飲み会を行いました。

その時に仲間の話が出て、タイ日立の黒瀬（現在タイで独立自営）とベトナム日機装の横山同学を訪ねて、Thai & Vietnamに行こうとなり、海外でミニクラス会を行いました。この時も小川先生が加わり、賑やかに。



成田⇒香港⇒バンコク⇒チェンマイ⇒バンコク⇒ホーチミン⇒バンコク⇒香港⇒マカオ⇒香港⇒成田と九泊十日のへとへとな旅でしたが、今まで仲々経験できなかった思い出でした。

E3 野村 正信

二年ぶりのM8同窓会

富山高専機械工学科8回生同窓会は、2年ぶりに16名が集まった。卒業して33年が経ち、しっかりおじさんと真ん中。中には孫のいるやつも。県外からも二人の参加。こっそり観察してみると、あっ！髪の毛が一本もないやつがいる。上にない代わりに髭もじゃも・・・、とろろ昆布もいれば、てっぺんがうす～いやつも。真っ黒な彼は、きっと染めてるなあ・・・、あいつ白髪が急に増えたなあ～、相変わらず頭でっかいなあ～。頭事情はほっといてくれ！と言われそう。みな元気で何よりである。前回、卒業して初めてのA君は今回も参加。今回初参加のN君、今までどうしてたんだ？ととても懐かしく話が尽きない。まだ一度も顔を出さないやつ

は、次回みんなで何とか参加させようぜってことで意見が一致。今まで二年に一度の同窓会、年を考えると意見も・・・。A君に次回の幹事をお願いして、次も元気に集まろう。同窓会はいいい、昔の友はとってもいい。

(平成21年8月15日 銀鱗にて)

M8 H・S



高専工業化学科10期生 同級会

お盆休み中の8/15に富山高専工業化学科10期生の同級会を開きました。

場所は、富山第一ホテル13階のエミエールです。

同級会は、毎年お盆の休み中に開催しています。

昨年は、20人集まりましたが、今年は、私を含めて10人でした。

皆50歳を超えており、会社でも幹部として、大変多忙を極めており、「この、年に1回の同級会は、久々に心が休まる」と誰もが口にしています。

皆それぞれ進んだ道は違うけれど、公私共、今が一番充実しているようです。

県外へ就職しているものも数名参加しており、毎回県内外の話で盛り上がります。

特に、今回は、8月末の衆議院選挙の話で、日本が変わるのか等、喧々諤々の論争をしました。

酒の勢いに任せて、自分が日本を変えたいと言いつつものが1人くらいいてもいいのですが、さすがに50をこえると、現実的な話のみで和気藹々に1次会は終わりました。

毎回の事ですが、1次会の後、2次会、3次会、4次会とはしごをし、終わったのは午前様でした。

年に1度位とことん旧友と飲み明かすのもいいものです。

来年は、8/14(土)に同級会を開催する予定です。以上ご報告まで。

C10 打出



全国高専体育大会等の成績結果等

第44回全国高等専門学校体育大会

- 陸上 (8/18・19 宮崎県総合運動陸上競技場)
 - ・男子 400m 蝶 眞清 (3 M)
- 柔道 (8/23 ベっぷアリーナ)
 - ・男子団体 3位 (4年連続)
 - ・男子個人60kg級 八十島亘宏 (1 C)
 - ・男子個人73kg級 山崎 一樹 (4 C)
 - ・男子個人90kg超級 前田 晋吾 (4 E)
 - ・女子個人63kg級 白川 郁子 (2 K)
 - ・女子個人52kg級 家城みづき (4 C)
- 剣道 (8/23 北九州市若松体育館)
 - ・男子団体
 - ・女子個人 中川 絵理 (1 C)
- バドミントン (8/22・23 福岡市九電記念体育館)
 - ・男子団体
- 水泳 (8/22・23 宮崎県総合運動公園水泳場)
 - ・男子個人100m平泳ぎ 吉田 俊介 (2 C)
 - ・男子個人200m平泳ぎ 吉田 俊介 (2 C)
 - ・男子個人800m自由形 高木 駿平 (4 M)
 - ・男子個人200m個人ドレー 2位 高木 駿平 (4 M)
- 卓球 (8/24 ベっぷアリーナ)
 - ・男子個人ダブルス 3位 上野 樹 (3 K)・嶋田 力也 (3 C)
 - ・男子個人シングルス 3位 上野 樹 (3 K)
- ハンドボール (8/22・23 八代市総合体育館)

第58回富山県高等学校総合体育大会

- 柔道競技 (6/7 アルビス小杉総合体育センター)
 - ・男子個人 60kg級 八十島亘宏 (1 C)
 - ・男子個人 60kg級 堀田 謙弥 (1 K)
 - ・男子個人 66kg級 2位 伊東 篤志 (3 K)
- 卓球競技 (6/6~8 魚津市ありそドーム、黒部市総合体育センター、富山県総合体育センター)
 - ・男子団体 準優勝
 - ・男子個人ダブルス 上野 樹 (3 K)・嶋田 力也 (3 C) 上田 諒浩 (3 E)・得能 基史 (2 K) 藤田 慎也 (1 E)・山村 聖輝 (1 C)

平成21年度 富山県高校総合体育大会

- 弓道競技 (6/7 射水市大島弓道場)
 - ・男子団体 3位

平成21年度 北信越高等学校体育大会

- 弓道競技 (6/20・21 長野運動公園弓道場)
 - ・男子団体
 - ・男子個人 本田 亮太 (2 E)
- 柔道競技 (6/20・21 アルビス小杉総合体育センター)
 - ・男子個人60kg級 八十島亘宏 (1 C)
 - ・男子個人66kg級 伊東 篤志 (3 K)
- 卓球競技 (6/20・21 福井県営体育館)
 - ・男子団体
 - ・男子個人ダブルス 上野 樹 (3 K)・嶋田力也 (3 C)
 - ・男子個人シングルス 上野 樹 (3 K)
- 水泳競技 (7/19・20 ダイエープロビスフェニックスプール)
 - ・男子個人100m平泳ぎ 吉田 俊介 (2 C)
 - ・男子個人200m平泳ぎ 吉田 俊介 (2 C)

第42回近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校弓道大会

- 弓道大会 (8/1 長野運動公園弓道場)
 - ・女子団体の部 優勝
 - ・個人の部 川原 理彰 (4 E) 射技優秀賞 岡本 香奈 (4 C)

第62回富山県民体育大会

- 弓道競技 (7/18 県営富山弓道場)
 - ・少年男子遠的 1位 三枝 孝彰 (3 E)
- 卓球競技 (8/19 富山市総合体育センター)
 - ・1年生の部男子シングルス 次勝 藤田 慎也 (1 E)

第91回全国高等学校野球選手権富山大会

- 野球大会 (7/21 県営富山球場)

平成21年度 秋季富山地区高等学校野球大会

- 野球大会 (8/17 大沢野野球場)

第42回全国高等専門学校サッカー選手権予選北信越大会

- サッカー大会 (7/18・19 千曲川リバーフロント)

第45回全国高校将棋選手権富山県大会

- 将棋大会 (5/23 北日本新聞社)
 - ・男子団体戦 3位
 - ・女子個人戦 優勝 高村咲也子 (2 K)
 - ・リーグ戦 1位 中田 直樹 (1 E)

第42回滑川市武道大会富山県大会

- 弓道競技 (8/30 滑川市総合体育センター弓道場)
 - ・一般の部 団体 1位 富山高専 A
 - ・高校の部 団体 3位
 - ・一般男子の部 個人 1位 三枝 孝彰 (3 E)
 - ・高校の部 女子個人 2位 河内古都絵 (2 K)

剣道部 近況報告

剣道部は、今年度の北陸地区高専大会において、23年ぶりに団体優勝を果たしました。個人戦でも、中川絵理さん（1C・井波中出身）が優勝、青木透君（4E・芝園中学出身）が3位入賞し、これも、同窓会のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

全国大会では、団体戦は予選リーグ敗退、女子個人戦1回戦敗退に終わり、全国との力の差を痛感させられました。新チームでは、「全国大会に出場し、そして勝つ」を目標に毎日の稽古に励んでおります。夏休み中連日稽古をつけて下さった伊勢博行先生、練習試合を快くお引き受け下さいました入善、富山中部、富山南、富山工業高校の剣道部顧問ならびに部員の皆様、また、ご支援いただきました剣道部OBの皆様、富山市剣道連盟様、サンプレイスむらくも様には、心より御礼申し上げます。

全国高専大会出場という貴重な経験を生かし、高校の大会でも成績を残せるよう、部員一丸となって頑張っております。今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（剣道部顧問 一般科目 青山晶子）



<福岡県北九州市若松体育館にて 平成21年8月23日>

柔道部 近況報告

— 全国高専体育大会5年連続 男子団体3位入賞！ —

柔道部は平成21年8月23日(日) ベっぷアリーナにて開催された全国高専体育大会柔道競技にて5年連続3位入賞を果たしました。柔道部では高専体育大会での入賞を目指し、平素の練習に加え年二回の遠征（12月：筑波、3月：岐阜へ）を行っています。この遠征および夏の合宿は部員にとって大変辛いものでしたが、全国大会上位入賞を目標に22名の部員全員が一丸となって練習に励んできました。5年連続の入賞は、この努力の成果だと考えます。優勝した近畿大学高専の壁は厚く今年も惜しくも団体優勝および個人入賞はできませんでしたが、本校柔道部は全国高専大会において過去優勝回数7回の伝統校ですので、今年の入賞に満足することなく少しでも先輩方の戦跡に近づけるよう、さらに来年の全国高専大会に向け研鑽を積みたいと考えています。

最後に、昨年度いただいたクラブ活動助成費は昨年度の遠征補助に充てさせていただきました。柔道部が活躍できるのも同窓会の皆様をはじめとする多くの方々の支援のおかげであると心より感謝申し上げます。柔道部は富山高専の名前を全国に知らしめるべく今後とも頑張っていきますので、変らのご支援鞭撻宜しく願いいたします。

（柔道部監督 畔田博文）



硬式テニス部 近況報告

同窓会よりのご支援ありがとうございました。硬式テニス部は、今年から女子部員が4人加わり、久しぶりに北陸地区高専大会の団体戦に男女揃って出場しました。そして男子は、十七年ぶりに三位入賞を果たし、女子は二位入賞を果たしました。個人戦でもすべての種目でベスト4以内に入る大健闘を見せました。来年は、目標を高く男女揃っての団体戦優勝を狙っていきたいと思っています。

また富山商船との統合を間近に控え、商船テニス部との交流もおこなわれるようになってきました。今年の夏休みには、商船のコートで練習試合を行い親交を深めるとともに、よい刺激を受けました。

部員一人ひとりが向上心を持ち、毎日練習に励んでいます。今後とも、応援、ご支援をよろしくお願い致します。



硬式テニス部 2年 若林奈々恵

ハンドボール部 近況報告

ハンドボール部は今年3年ぶりに高専全国大会(於:熊本県八代市)に出場しました。結果は予選リーグ1勝1敗(対:函館高専15-20、対:高松高専25-21)で2位。決勝トーナメントには進出できませんでしたが、持てる力を存分に発揮できたのではないかと考えています。負けたとはいえ、函館高専は前年度の優勝校で今年度も準優勝の強豪。前半のほとんどをエース不在(出血が止まらなかったため)で戦っての、この結果は立派だったと選手諸君のチームワークを褒めたいと思います。

振り返ってみると、今回の全国大会1勝は昭和63年熊本大会で本校ハンドボール部が準優勝したとき以来の勝利でした。たびたび全国大会に出場したことはありますが、善戦はするものの同点止まり。全国大会

1勝は我がハンドボール部長年の目標でありました。その意味では新たな飛躍への、価値ある1勝でした。

同窓会からの補助金は、毎年3月豊田市で行われているチャレンジカップ(全国の有志高専と高専OBが集うハンドボールの交流大会)への遠征費の一部として使わせていただいています。この大会で大いに刺激を受けて新年度の活動が始まるわけで、今年度の成果もこの一つの結果だったとも言えます。

なお、高校生部分での大会では、この2~3年、県内ベスト8の常連校となっており、くじ運次第ではベスト4の可能性もあります。今後とも富山高専ハンドボール部へのご声援をお願いいたします。

(顧問 一般科目 秋元 誠)

鉄道部 近況報告

同窓会より、クラブ活動助成金をいただき、ありがとうございました。

鉄道部では、11月に行われる高専祭に向け、さまざまな準備を行っています。

まず、鉄道模型のジオラマ作りです。今年度は3年に1度の高専祭であり、なおかつ商船高専との統合記念の学園祭でもあるので、最大規模のレイアウトを展示することにしています。子供たちだけでなく、大人の方々にも楽しんでい頂けるような作品となるよう、部員一丸となって製作に励んでいます。

次に、鉄道レポート作りです。今年度のテーマはJR線特集ということで、JR北陸線・城端線・氷見線の全線全駅とJR高山線の富山県内全駅を自転車で駆け巡り、駅の特徴や周辺にある施設や観光地などを

調査し、1つのレポートにまとめるということを行っています。撮影した写真を用紙に1枚1枚貼っていく作業は、とても地道ですが、少しずつ完成に近づくレポートを見ていると、不思議と手が進んでいくものです。今年の写真枚数はざっと2000枚。過去に作った同様のレポートの写真枚数に比べると3~4倍の量です。それだけ大変ということですが、そんなことでくじけないのが鉄道部のパワーです。誰もが驚くような作品となること間違いなしだと自負しておりますので、最高の作品となるように尽力していく次第です。

このように鉄道部は、より活発でアウトドアなクラブへと成長しています。高専祭では、努力の結晶を存分に公開しますので、どうぞご期待ください。

(4年 電気工学科 上田 葵)

遠征で実力養成 囲碁・将棋部

ここ3年、同窓会からのご援助を得て、近畿・中部地区囲碁将棋大会に出場させていただいています。夏の全国高等専門学校将棋大会にむけて、実力養成の機会にもなり、また囲碁の方では、本校から参加できる唯一の高専の大会ということで、非常に有意義な活動機会になっています。

今年度は、将棋の部で県の高校の大会では団体戦県3位に入賞しましたが、全国高専将棋大会は残念ながら入賞には至りませんでした。3、4年生の選手層がやや薄く、下級生の実力養成が今後の活動の鍵になりそうです。最近の新しい動きとしては、将棋の方に女子部員が加入し、全国の高校の大会にも出場したことが挙げられます。実力はまだまだですが、男子部員へのいい刺激になっているのではないかと思います。囲碁の方も大会には出場していますが、部員がもう少し多いと活発になるでしょうか。

少し先の話になりますが、2011(平成23)年度の全国高専将棋大会を富山で開催することが決まっています。地元大会での活躍を期して、日々の練習に取り組んでいる囲碁・将棋部に引き続きご支援いただければ幸いです。

(顧問 一般科目 高熊哲也)



全国高校将棋選手権大会 女子個人戦

ロボコン報告

本年度のテーマは「ダンシングカップル」。無線操作の手動ロボットと自動ロボットの計2台によって「ダンス」を表現するという、例年のロボコンでは稀に見る高難易度の課題設定となっています。昨年採用された課題である「二足歩行」が引き続き本年度も採られ、「歩行」の定義も厳密化されるとともに、2台のロボットが「協調」しながら課題クリアを目指すという技術課題を鑑みるに、ロボコンは新たな局面を迎えつつあるように思われます。

本年度の東海北陸地区大会は、10月11日(日)金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで行なわれます。地区予選としてはやや早い開催のため、部員学生らはほぼ夏休み返上で製作に当たってきました。課題設定の問題もありますが、本年度は出走マシンのレギュレーション設定が従来とはベクトルが真逆の様相を呈しており、大型化指向となっています。そのため、これまで蓄積してきたノウハウがいささか役に立たない状況に直面しているとも言えます。

さて今回のテーマに対して、本校からは「猿蟹合戦」「チューリップ農家」なるコンセプトで参戦エントリーしています。「猿蟹合戦」は昔話でお馴染みの題目で

すが、本来相対する猿と蟹が協力関係にあるところが何ともシュールであります。こちらは高学年(3年生以上)が主体のチームです。設計は3M河原君が中心となって行なっている力作であり、その見応えは十分であります。もう一方の「チューリップ農家」は2年生を中心としたチーム構成であります。富山の県花であるチューリップを、愛情持って育てる農夫と、それに応えるチューリップの壮絶(?)なダンス共演というところが何とも想像を掻き立てます。こちらは設計初体験の駆け出しではありますが、この経験は「養分」となって今後の活動に発揮されるよう期待しつつ、製作を見守っているところであります。

最後になりますが、ロボコン参戦に際して先生方の多方面にわたる支援に感謝いたします。また同窓会からの多大な支援に対して、この場を借りて厚く御礼申し上げます。現役部員にとって、これは大きな心の支えとなっているものと思います。地区予選はこれからですが、周囲の期待に応えるべく部員一丸となって邁進する所存であります。

(顧問 電気工学科 金子慎一郎)

ほんごう会 ホームページ をリニューアル



去年、立ち上げた同窓会のホームページの掲示板をリニューアルしました。

画像もアップできるようにしたので、一度、ご覧ください。現在は、おもに同級会の実施情報を載せてあります。

住所変更の案内やパスワード希望の書き込みは、あるのですが、掲示板への書き込みが少ないので、ぜひご利用下さい。



ほんごう会のホームページアドレスは

<http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧 ID とパスワード】

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

なお、メールアドレスは info@tk-hongou13.net です。

10月1日より新しい高専になり、校章や校歌も変わり、公には、ほんごう会でのみ使われる事になりました。富山高専のホームページも統合されて新しくなりましたが、学校の情報は高専のホームページで、懐かしい先生の姿や友人の話題は、ほんごう会ホームページで検索して下さい。

なお、来年、同窓会名簿を5年ぶりに作成しますので、調査票が送られてきましたら、速やかに返送していただきますよう、お願いいたします。